

日本経済新聞 2012年6月19日に掲載！！



白洲次郎の山荘保存へ

戦後、吉田茂元首相の懐刀として活躍した実業家、白洲次郎が、東北電力の会長時代にスキーを楽しむため蔵王温泉（山形市）に建てた山荘「ヒュッテ・ヤレン」を写真Ⅱを保存、活用しようと、地域活性化に取り組み特定非営利活動法人（NPO法人）「元気・まちネット」が募金活動を始めた。

山荘は蔵王温泉スキー場のグレンデ近くにしたたずむ木造2階建て延べ約

スキー用、蔵王温泉に建築

NPO「観光誘客で活性化」

70平方メートルの小さな建物 エー建設にも携わった。で、スキーが得意な白洲 山荘は白洲が手放したのが1957年に建築した後、暖炉を取り去るなど。欧風の外観で1階に改装され、実業家の故三暖炉、2階にオープンキ宅警氏が買い取ったが、ツチンを据え付けるなど 現在は使われていない。当時としてはモダンなつ 保存状態は良好だが、くり。名前は「スキーは 元気・まちネットは「白うまくやれない（やれ 洲次郎が建てた時の状態ん）」をもちり、白洲自に」と暖炉などを復元する予定。約1500万円ら付けた。

白洲は戦時中に統合さ の費用が必要で、2月か れていた国策電力会社の ら募金を始めた。

分割に関わり、51年に東 矢口正武代表（65）Ⅱ 北電力の初代会長に就 山形県出身Ⅱは「耐震工 任、59年まで務めた。蔵 事なども行い、2014 王温泉を気に入り「東洋 年には公開したい。観光 のサンモリッツ（スイ 客減少が続く温泉街の活 ス）」にしたいと自ら山 性化につなげたい」と話 荘を建て、大型ロプウ している。